



早川小



かしこく、やさしく、たくましく

誠実で何事にもベストを尽くす児童の育成

校長 中島 慶太

秋の深まり、充実した活動

朝晩冷え込むようになりました。校庭のイチョウの木もきれいに色づき、地面に黄色い絨毯を敷く準備が整いました。この時期、どの学年も日頃の教科学習とは一味違った学びをしています。昔から「行事で育てる」言われていますが、子どもたちが夢中で取り組む中で確かな育ちが見られましたのでご紹介します。



収穫の秋～焼き芋～

1年生は、生活科の学習で育てていたサツマイモを収穫しました。全部でコンテナ 3 箱分とれました。大きなおイモがとれると、自慢げに見せてくれました。嬉しそうな笑顔が印象的でした。つるもたくさんとれたので、リースを作ったり、つなひきやなわとびをして遊んだりしました。「学校の人にも食べてほしい」と、栄養士の先生にお願いして給食で出してもらいました。



おイモはホイルにくるんで焼き芋にしました。いつもお世話になっている 2 年生を招待して一緒に食べました。みんなホクホクの笑顔でした。担任に話を聞くと、子どもたちは「甘いおイモになーれ」と声をかけながら水やりをしていたそうです。そんなやさしい思いを大切に指導してきたと語ってくれました。



アスリートによる跳び箱の授業

3、4、5年生の児童は、体操選手の小川泰弘さんによる跳び箱の授業を受けました。体ほぐしの体操から、跳び箱の踏切、着地と細かなステップでの指導はとても分かりやすくあっという間の時間でした。楽しく体を動かす中で、少し高い跳び箱に挑戦してみようとする子がいました。学びの原動力を感じることができました。「跳び箱が跳べてよかった」「楽しかった」と子どもたちは感想を話してくれました。



全校道徳～困っている友達にできること～

小田原市人権・男女共同参画課の方々を講師に迎え、全校道徳を実施しました。テーマは「困っている友達に何ができるかみんなで考えよう」です。一人でいるクラスメイトに「何をしてあげたいか」「自分だったら何をされたらうれしいか」という視点でなかよし班のメンバーで考えました。6年生はしっかり話し合いを進めることができました。「友達になろう、一緒に遊ぼうと声をかける」「どうしたのと声をかける」「そっと見守る」「自己紹介をする」「相手のことを知る質問を考える」など、子どもらしい発想がいいなと思いました。講師の先生からは「相手を認めることができる人は、人を幸せにする力を持っているんだよ」と教えていただきました。子どもたちは「今日学んだことを中学校でもいかしたい」「初めて学校に来た時に友達がいなかった。一人ぼっちの子がいたら今日学んだことをいかしたい」と感想を話してくれました。



芸術鑑賞会～パントマイム～

今年の鑑賞会は、パントマイムグループ SOUKI さんによる体験型パントマイムの公演でした。パントマイムは目に見えないものをあたかもあるかのごとく動きや表情で表現します。不思議なもので、何も無いはずのステージに壁が見えるような気がしました。子どもたちも夢中になってステージを見つめていました。

後半は、基本の動きを教わり壁のパントマイム体験をしました。子どもたちの生き生きとした表情が印象的でした。終わった後子どもたちに感想を聞くと、「とても楽しかった。」「実際に自分もやる事ができてよかった。」などの声が聞かれました。音楽や劇の鑑賞もよいのですが、このような鑑賞も面白いなと思いました。

芸術鑑賞会は PTA の積立金で運営されています。子どもたちがよりよいステージを観る機会を大切にしていきたいなと思いました。



おもちゃの町へようこそ

2 年生は生活科の学習で、身の回りの材料を使ったおもちゃ作りをしました。子どもたちは、フリスビーやペットボトルカー、とことこリレーなどを作り楽しく遊びました。そして、1 年生やお世話になっている 6 年生にも楽しい思いを分けてあげたいとおもちゃの町に招待しました。自然とそんな発想が出てくるのは、日ごろから他学年と仲が良い早川小ならではのようです。担任は、自分たちでやりたいことを決めて進めてほしい。そして友達と協力してやり遂げてほしいという思いで指導に当たったそうです。当日は、「楽しかった」「がんばってよかった」とみんなが笑顔になりました。



宿泊体験学習～足柄ふれあいの村～

5年生は、足柄ふれあいの村へ宿泊体験学習に出かけました。1泊2日の活動です。子どもたちが安心して活動できるように、多くのボランティアの方がお手伝いをしてくださいました。足柄ふれあいの村では、カレーを作ったり、キャンドルファイヤーをしたりと楽しい活動が満載です。カレーは自分たちでおこした火を薪にうつしてご飯を炊いたり、カレーを煮たりしました。いつものカレーとは一味も二味も違ったことでしょう。キャンドルファイヤーは手品や劇の出し物で盛り上がりしました。なんといっても子どもたちの楽しみは、友達と過ごす夜の時間です。忘れられない思い出がたくさんできたようです。担任は自分たちで見通しをもって活動できたことや子どもたちの持ち味をいかして楽しいスタンプができたことはよかったとうれしそうに語ってくれました。



湘南ベルマーレサッカー教室

4年生は、湘南ベルマーレフットボールアカデミーのサッカー教室に参加しました。ボールを使った体ほぐしをした後、パスやドリブルの練習をしました。どちらも相手に合図をしたり、声をかけたりするなど、チームワークを意識することが大切だと教わりました。授業の終わりにはミニゲームを行いました。ゲームの最中「今のおいしい!」「ボール来たよ」「前に行こう」などの声がたくさんコートに響きました。子どもたちがチームワークを意識していることが伝わりました。担任は「今回のサッカー教室で集団生活を送る上での大切なことを子どもたちは学んだ。これからも相手を思いやり、率先して声をかけ合えるような高学年になってほしい」と熱く語ってくれました。将来、ベルマーレで活躍する選手が出てくることを楽しみにしています。



今号より学校だよりをスマートフォンの縦スクロールで見れるように構成を変更しました。

